

試聴会・訪問記掲載

河口無線夏のオーディオ三昧報告(2015.8.9)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回もお盆休みに合わせて開催されていました。

2015年8月8日～2015年8月16日【3F ハイフィデリティ試聴室】

時間:PM1:00～PM5:00

<使用機材>

試聴対象は以下の3システムです。

【第一システム】



ピエガ スピーカーシステム プレミアム 50.2 ¥1,188,000 (ペア)



オクターブ 管球プリメインアンプ V110 (LINE モデル) ¥1,112,400



リン ネットワークオーディオプレイヤー AKURATE-DS-K ¥972,000

【第二システム】



ソナスファベール スピーカーシステム OLYMPICA-III ¥2,052,000 (ペア)



ラックスマン プリアンプ C-900U ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900U ¥1,188,000



LUXMAN SACD プレイヤー D-08u ¥1,188,000

【第三システム】



B&W スピーカーシステム 800Diamond ¥3,672,000 (ペア)



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



エソテリック SACD プレイヤー K-01X ¥1,566,000

<当日の設置状況>



第一システム



第二システム



第三システム



MPS-5LTD

<試聴経過>

第一システムは AKURATE-DS-K からジャズボーカルが流されていました。第二システムと第三システムは SACD/CD プレイヤーが繋がっていましたので、持参した CD を聴くことができました。第二システムでは D-08u から再生し、第三システムは実際にはホームページに出ていた K-01X でなく、Playback Design の MPS-5LTD が繋がっていましたので、これから再生しました。第三システムでの再生はいかにもハイエンドという音でしたが、第二システムではソナスファベールの OLYMPICA-III のキャラクターもあってヴァイオリンが心地よい音がしていました。第一システムはもう少しハイエンドらしい音がするかと思いましたが、アンプがオクターブの管球プリメインアンプだけあって落ち着いた音が好ましく感じられました。